

# 例会報告：2013年7月9日（晴れ） 第1805回 通常例会

## ◆ ゲスト

羽生 圭吾様 (小田原城北ローターアクトクラブ会長)

## ◆ 会員誕生日

河野 秀雄さん (7月5日)  
一寸木 信雄さん (7月11日)



## ◆ ニコニコ箱

太田 忠委員

	ニコニコ箱	累計	目標
7月9日分	13,000	96,000	1,300,000

### \* 会員誕生日

河野 秀雄さん…誕生日ありがとうございます。ロータリアンでいられることに感謝いたします。

一寸木 信雄さん…7月11日で65才になります。誕生日ありがとうございます。

### \* その他

菊地 義雄さん…年初例会欠席いたしました。

大谷 宏さん…露木会長健康に気をつけて1年間がんばって下さい。小嶋章司さんの友情に感謝します。

小嶋 章司さん…2011年に大邸松林ロータークラブと共同で植えたムクゲの花を、スガノハラ公園に日曜日見てきました。満開にはもうちょっとという感じでした。東屋もきれいでした。

柳井 渉さん…諏訪間陽子さんようこそいらっしゃいました。本日は卓話よろしく御願います。

## ◆ ホームページでの会報バックナンバーの見方について

当ロータークラブでは、会報のナンバーをホームページで閲覧出来るようになっておりますのでご活用下さい。この会報に貼付されている『会報バックナンバーのご利用ガイド』に沿ってご利用下さい。尚、『会報バックナンバーのご利用ガイド』については紛失しないように取り扱いにご注意下さい。他の人に手に渡り、その人がブログやFacebookで公開してしまうと、その情報が一気に広がり、会員専用サイト内にある会員名簿（詳細情報）を悪用されたり、掲示板を悪用されたりする可能性があります。尚、『会報バックナンバーのご利用ガイド』が不要な方がいらっしゃいましたら、小林（和）にご返却をお願いします。



RAC  
会員募集中

相応しい会員をご紹介ください！

## ◆ ◆ ◆ 今後のメーキャップ情報 ◆ ◆ ◆

### -2013年7月-

- ▶17日(水) 小田原北 報徳会館 12:30  
「卓話:小侯勇次会員/アメリカ渡航」
- ▶18日(木) 小田原中 報徳会館 12:30  
「卓話:メンタルヘルス/清水典子先生」
- ▶19日(金) 湯河原 ニューウエルシティ湯河原 12:30  
「卓話:常盤章夫会員」
- 足柄 おんりーゆー 12:30  
「卓話:会場監督担当」
- ▶21日(日) 小田原城北RAC 小田原周辺 時間未定  
「卓話:小田原提灯まつり」
- ▶22日(月) 小田原 報徳会館 12:30  
「卓話:小田原ユネスコ協会の活動について/生沼啓治様」
- ▶23日(火) 箱根 宮ノ下富士屋ホテル 12:30  
「卓話:クラブ協議会/副会長・各委員長」
- ▶24日(水) 小田原北 報徳会館 12:30  
「卓話:神山洋介様/二宮尊徳」
- ▶25日(木) 小田原中 報徳会館 17:30  
「卓話:クラブフォーラム」
- ▶26日(金) 湯河原 湯河原観光会館 12:30  
「卓話:ガバナー公式訪問」
- 足柄 7月27日(土) 家族親睦納涼例会へ振替の為休会  
「卓話:」
- ▶29日(月) 小田原 報徳会館 12:30  
「卓話:相澤光春ガバナー/ガバナー公式訪問」
- ▶30日(火) 箱根 特別休会  
「卓話:」
- ▶31日(水) 小田原北 報徳会館 12:30  
「卓話:横森正樹様/日本の農業」

### -2013年8月-

- ▶1日(木) 小田原中 報徳会館 12:30  
「卓話:財団奨学生・真継 蘭様」
- ▶2日(金) 湯河原 ニューウエルシティ湯河原 12:30  
「卓話:高橋延幸会員」
- 足柄 おんりーゆー 12:30  
「卓話:佐久間俊治様/酒匂川の治水と日中に王を訪ねる旅」

【小田原城北ローター・クラブ】  
事務局：〒250-0211 小田原市鬼柳172-9  
電話：0465-37-1222 FAX：0465-37-7377  
URL：http://www.odawarajhrc.jp  
Mail：info@odawarajhrc.jp  
例会場：小田原卸センター内会議室  
創立：1976年4月2日 承認：1976年5月8日  
例会：毎週火曜日 12:30～13:30  
クラブ会報委員会  
監修：金山 慶昭  
編集長：久保田 知子  
コピーライター：大川 誠  
デザイン：小林 和彦  
フィールド：小川 和夫・志澤 昌彦

会員数：50名



国際ロータリー第2780地区

# 小田原城北ロータリー・クラブ

R.I. DISTRICT No.2780  
ODAWARA JOHOKU R.C.  
2013-2014  
WEEKLY BULLETIN



【R.I. 会長】  
ロン D. バートン  
【R.I. 2780地区ガバナー】  
相澤 光春  
【第9グループガバナー補佐】  
井島 誠行



【会長】露木 清勝  
【副会長】須賀 俊和  
【幹事】金山 慶昭  
【副幹事】木村 頼弘  
【会場監督】杉崎 勝成

## ロータリーを 実践し みんなに 豊かな人生を

ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES

## 本日の例会：通常例会（第1806回）

会場：小田原卸センター内会議室

日時：2013年7月16日 12:30～13:30

司会：木村 頼弘 副幹事

12:30	開会点鐘：露木 清勝会長 ローターソング斉唱 「手に手つないで」 スピーカーおよびビジターの紹介 慶事祝福 会長挨拶 幹事報告／出席報告／委員会報告 同好会報告／ニコニコ箱
13:00	担当：プログラム委員会 卓話：野島達也様/ (株) 帝国データバンク横浜支店 情報部長 「神奈川県内の経済状況について」
13:30	閉会点鐘：露木 清勝 会長

## 【今後の例会・卓話スケジュール】

### 7月23日 通常例会(クラブ協議会) 12:30

担当：会員増強委員会

卓話：荻原保典地区会員増強・会員維持委員長(相模原西RC)  
「会員増強について(仮)」

### 7月30日 通常例会 12:30

担当：新世代育成委員会

卓話：清水寿人地区青少年交換委員長(相模原柴胡RC)  
「青少年交換プログラムについて」

### 8月6日 納涼例会(移動夜間例会) 17:30～20:30

担当：親睦活動委員会 送迎バス小田原駅西口16:50発

会場：ヒルトン小田原リゾート&スパ

受付:17:00～17:30 会費：10000円・ご家族他8000円

例会:17:30～18:00

宴会:18:00～20:30

「美味しい食事と音楽大生によるオペラ鑑賞で心を癒すひと時を」

### 8月13日 休会

## 小田原城北ローターアクトクラブ年初例会（2013年7月10日）

【小田原城北ローターアクトクラブ年初例会】

2013年7月10日（水曜日）19:30より、小田原市川東タウンセンターマロニエ201号室において、小田原城北RACの2013～2014年度の年初例会が催されました。羽生新会長の所信表明と、思いを込めた活動計画書の内容の説明がとて好印象でした。小田原城北RCからは、露木会長をはじめ、計14名の出席があり盛況のうちに閉会しました



# 例会報告：2013年7月9日（晴れ）第1805回 通常例会

会場：小田原卸センター内会議室  
時間：12:30～13:30

## ◆ 会長挨拶

露木 清勝 会長



先週は長時間の年初例会、大変ご苦勞様でした。特に会場監督・親睦委員会の皆様方には大変お疲れ様でした。ありがとうございました。

また、翌日の3日とその2日後の5日には、小田原北ロータリークラブ、足柄ロータリークラブの年初例会にそれぞれ金山幹事と共に御邪魔をして参りました。

小田原北ロータリークラブの年初例会には3年ほど前に、当時の中村会長の代理として出席致しましたが、その時の北クラブの感じは、大変威厳のある、また格調の高いクラブという印象でした。しかし、本年何うと、若い会員も増え、女性会員も5名と大変活発で、明るい雰囲気のあるクラブにずいぶん印象が変わりました。

我がクラブの親睦委員長の小楠君は、第9グループの親睦委員長の中でも最若手とと思っていましたが、北クラブの親睦委員長が30代前半という若さには驚きました。

足柄ロータリークラブは、以前と変わらずとてもフレンドリーな印象でした。懇親会の席で、普通は来賓紹介、会長挨拶と続くはずが、いきなりガバナー補佐挨拶から入ってしまいましたが、そのミスがかえってその場の雰囲気を和らげ、とても良い懇親会でした。皆様方もメーキャップされる時は、ぜひ近隣のクラブで例会参加をされて、城北とはまた違うロータリーを体験されるのも良いと思います。

話は、突然変わりますが年初例会では、『職業奉仕』の必要性の話をしました。そのPART2ではありませんが、先日日本商工会議所の新聞で気になる記事がありました。「地域経済の活性化は、この10年間で最後のチャンス」・・・と言う内容でした。これはどのような事かという、日本の地方都市の中心市街地の衰退は著しく、なかなかその立ち直りの様子が見えてこない。この状況がこのまま続くようだと、2025年には、日本の人口が1億一千万人まで減少してくる中で、地域経済の活性化が不可能なものになってしまうような内容でした。

既に人口減少社会に入っているという日本社会、今後十数年で一千万人もの人口減少がおきるという予測が当たるとするならば、ここ小田原でも定住人口・交流人口（観光客）共に増加させるには・・・ここでももしかすると、小田原の活性化に必要なものは、『職業奉仕』なのではないでしょうか？皆様方は、どのようにお考えになられるでしょうか？

## ◆ 幹事報告

金山 慶昭 幹事



先週の例会に多くの会員のご出席と沢山の二コニコを入れていただきありがとうございます。

また、会場監督には例会会場前方の「ロータリーの目的」RI会長とガバナーの写真を入れ替えていただきありがとうございました。

1)ボーイスカウトよりご寄付をしたお礼のお花をいただきました。

2)活動計画書にお名前の記載がなかった方はBOXに入れていませんので事務局に申し出てください。

3)活動計画書のP43にある出席免除有資格者で出席免除を申請されたい方は幹事までご連絡をお願いいたします。免除を外したい方も同様です。

4)8月6日の納涼例会の御案内は次週にさせていただきます。委員会で詳しい資料を作成しています。

## ◆ 出席報告

一寸木 信雄 委員長

出席報告	会員数	出席	M.U	出席率
7月9日	50(47)	44	0	93.18%
7月2日	50(49)	47	0	91.49%
6月25日	49(47)	35	3	80.85%

【欠席者】 3名

内山 修一、志澤 昌彦、西 寛

【今回MU】 0名

【前回MU】 増加なし

【前々回MU】 1名増加

久保田 知子 (7/3 小田原北RC)

## ◆ 委員会報告

ローターアクト支援プロジェクト 須藤委員長  
小田原城北ローターアクト 羽生会長

7/10、午後7：30よりマロニエにてローターアクトの年初例会がございました。羽生会長の所信表明もございましたので、ぜひ参加をお願いします。

7/21、ローターアクトの移動例会として小田原ちようちん夏祭りに参加を計画しています。詳細は決まり次第ご連絡しますので、よろしくお願いします。



## ◆ Table Flower

- デルフィニウム
- カナリヤダイヤモンド
- ナデシコ
- サンデリーナ

デルフィニウムの花言葉は「陽気」「軽やかさ」  
ナデシコの花言葉は「純粋な愛」「無邪気」



## ◆ 卓話

「モンゴルの留学と秋田での生活」



諏訪間陽子様 (元青少年交流留学生)

2007年8年度、ロータリーでフランス留学させていただきました諏訪間陽子様です。大学時代や、その後モンゴルに留学していた頃のお話をさせていただきます。

高校時代のフランス留学があったからこそ、国際教養大学に入学できました。授業は英語、少人数制で、留学必須という大学で、難易度が高いにもかかわらず入れたということは全て、フランスに1年間留学したからだ感謝しています。

国際教養大学に何故入ったかという、学長を尊敬していたから。留学後、私が通っていた塾に学長が講演にいらっしゃったのです。私はフランス帰りでアンチ・イングリッシュ（英語嫌い）だったのですが、この学長はフランス語ができて中国語・中国関係の専門家、それでも「英語は大事だ」とおっしゃって、この人は本物だと感じて大学受験を決めました。

大学時代はモンゴルに留学しました。何故モンゴルかと聞かれると、私はいつも「強くなるため」と答えてきました。モンゴルで学んだのは、まず信号は信じないということです。信号が点いていない、或いは両方点いている時は自分で判断しなくてはいけない。指示されるのではなく考えて行動することが必要です。フランスで1年間先進国を見てきただけに、自分で自分を守らなければならないモンゴルは良い経験でした。

国際教養大学は国際教養学部しかありません。曖昧な専攻しかありませんので、AIU生（秋田）の専門分野は「タフさ」だと思っていました。それで一番タフな国に行ってみようとモンゴルを選びました。日本が忘れた遊牧民ののんびりした生活をイメージしていたら、ウランバートルは騒がしい街でした。

日本のように規則に固められてなく抜け道が多い社会で、魅力的であり、お金やコネが直接パワーになる国だと感じました。若者が夢を追いかけ、恥ずかしくなく夢を語れる国です。冬はマイナス40℃の世界でしたが。

モンゴルの人々はたくましく、国の発展とともに上を見てもがいている印象を受けました。日本では私が生まれた頃にバブルが弾け、実は不景気しか経験したことがありません。モンゴルの活気やカオスはとても新鮮でした。

日本の常識をものさしに考えると、傷つき負けそうな部分もあり、強くなろうとして行った国で自分の弱さを知りました。冬、寒さに負けて帰国したりもしました。でも春に戻り、草原が緑になるにつれて、私自身も現地に溶け込むことができるようになりました。

人を信じる気持ちにも変化が生まれました。ルールのせいでも相手のせいでもなく、自分で決めて信じること。

余計な期待や心配はいらないと分かり、考え方や性格に影響を受けました。これから社会が変わっていく時に糧になっていくと思います。

日本はルールや常識がはっきり存在していて、自分で考えなくても生きていけます。モンゴルでは絶対がないからこそ、やり方次第で工夫ができ、今の日本にも役立つヒントがあったと思います。

大学を卒業した私は、いずれは秋田で起業したいと考えています。秋田に貢献したい気持ちと、地元密着でありたい気持ちを大切に、観光や地域の発展を目指すつもりです。現在、映像制作会社に勤めており、情報運用の勉強をしています。いつか大好きな秋田に戻って、秋田の魅力を世界に伝えていきたいと思っています。

もう一つ、「未来への教科書」という番組を私たちの会社で作っています。震災直後、他のメディアが配信していなかったことを中心に、現地の声を生で伝えることをモットーに撮影してきた番組です。良かったらご覧になってください。最後に。色々な地域のリソースをこれからの仕事に活かしていきたいと思っています。小田原でもそういった内容の勉強会などありましたらぜひ教えてください。これからもよろしく願っています。

